

東京新聞

夕刊

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

放射線

加藤シヅエ先生の形見分けとして、娘のタキさんからいただいた洋服がある。へちまえりのグレ

し、加藤先生はその一人だった。七四年の政界引退まで、衆議院議員を二期、参議院議員を四期務めている。

現在、女性の参議院議員は四十二人。加藤先生はこの数字をどう思っているだろうか。一院制議会または

の形見分けとして、娘のタキさんからいただいた洋服がある。へちまえりのグレのスーツと緋のチェックのしゃれたブラウスで、ちょうど私と同じサイズ。明治生まれとしては、大柄でいらしたのだ。

私の勝負服

加藤先生は家族計画国際協力財団の会長でいらしたと同時に、日本で初めての女性の国会議員としても知られている。一九四六年に行われた普通選挙は、女性が参加できた最初の国政選挙だった。女性の衆議院議員が三十九人誕生

下院の議員の女性比率は世界の平均で19%。日本は11%で、九十八位。先進国中、最下位。韓国やメキシコに及ばない。



来月には参議院議員選挙

がある。女性の参議院議員は現在四十二人。この数字がどう変わるのか。政治をつかさどることに、性差はないと思

う。が、私としてはとりわけ、子どものことや命のこと、生活にかかわることに、実感を持って政策に取り組める議員が増えてほしい。途上国の女性を支援する仕事に打ち込んできたが、迷ったり悩んだりすると、加藤先生の形見のスーツを手に取り新たに勇気を奮い起こす。このスーツは、いわば私の勝負服なのだ。

(池上 清子 国連人口基金東京事務所長)